

## 福島テレビ

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 活動名  | よむよむふくたん朗読の時間         |
| 実施期間 | 令和 6 年 6 月～令和 7 年 1 月 |
| 実施回数 | 会場 3 回                |

### 【事業実施の成果・課題】

- ・ 1 年生～ 6 年生が参加ということで、レベルをどこに合わせていくか悩んだ点があった。
- ・ 伝えたいことがたくさんあり、時間が足りないと思った。
- ・ より体験を交えたものにしたかった。(今回は発声練習・早口言葉をメインに体験してもらった)
- ・ 絵本を選ぶ際、郷土にちなんだものにしてもよかったのではないかと感じた。

### 【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

- ・ 「人前で話をする。発表する」ということを「苦手」と答える子どもたちの割合は、福島県内は多いです。その「苦手」という気持ちを「楽しい」と思ってもらえるように授業を開催している。
- ・ 福島テレビの出張授業では、実際に声を出してみることや、アナウンサーの声を体感してもらうことを積極的に行っている。自分の体を使ってもらい、普段何気なく話している声や話し方（スピードなど）は、意識を変えるだけで、すぐに変わりますし、周りの反応も変化します。そこに児童たちは喜びや楽しさを感じてくれている。
- ・ 児童たちと接して、直接伝えることが出来るこの授業は、講師を務めるアナウンサーにとっても有意義な時間だった。
- ・ 読み方を工夫したところで、聞き手の皆さんがびっくりしたり、笑ってくれたり、その空気が動く感覚をアナウンサー自身も楽しみながら活動が続けている。
- ・ 福島テレビでは、朗読活動を始めて 25 年、昔訪問した児童が、先生になってまた 授業を受けてくれるというそういううれしいシーンに出あうこともあった。福島のこどもたちが、元気にいきいき、ふるさと福島のすばらしさを発信できるように願いながら、今後も長く続けていきたい活動と考えている。
- ・ 普段の自分の仕事を言語化して伝えることで、より深く自分の仕事を考えるきっかけになった。
- ・ カメラの前で話すことが多い中、子どもたちのリアクションを見ながら話すことで、目の前の人に話す難しさを感じた一方で自分自身も楽しみながら進めることができた。
- ・ 子どもたちの率直な質問に大人の私が戸惑ってしまったが、新たな気づきを得ることができた。
- ・ 普段は朗読の機会が少ないが、この事業に向けて練習を重ねることで、より表現力の幅を広げることができた上、自分に足りないところを知ることができた。
- ・ 子どもたちの率直な質問に大人の私が戸惑ってしまったが、新たな気づきを得ることができた。
- ・ 普段は朗読の機会が少ないが、この事業に向けて練習を重ねることで、より表現力の幅を広げることができた上、自分に足りないところを知ることができた。

## 【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

### ＜児童からの感想＞

- ・アナウンサーの声はきれいだった。
- ・相手が聞きやすい声を出すことが大切とわかった。
- ・本の中のシーンが 絵のように頭にうかんだ。
- ・いろいろな声を出して 楽しかった。

### ＜教諭からの感想＞

- ・この授業後、児童たちの発表の様子が変わった。